

めでたく満100歳

齋藤カネさん(針道)

この世に生を受けて一世紀。7月10日に齋藤カネさん(針道)がめでたく満100歳を迎えられ、二本松市からは賀寿、福島県からは賀寿と木杯が贈られました。齋藤さんの長寿の秘訣は、「自分の好きなように過ごすこと。好き嫌いなく何でも食べること。」だそうです。齋藤さんのますますのご長寿をお祈りいたします。



第29回岩代ロードレース大会

6部門で7つの大会新記録

6月24日、岩代ロードレース大会が開催されました。岩代公民館前をスタートし、0.9～5キロコースの22部門に、岩代地区はじめ各地の小・中学生や一般市民ら352人が参加。強い日差しが降り注ぐ中、6部門で7つの大会新記録が更新されました。



保護者や仲間の声援を受けゴールを目指す選手

花苗約6千ポットを寄付

二本松を明るく彩る

湯川村の(株)渡部園芸・渡部貞雄社長より、日々草とマリーゴールド、ペゴニアの花苗約6千ポットが寄付されました。平成24年3月から毎年春と夏の2回寄付をさせていただいており、今回が14回目の寄付となりました。これまでに寄付された花苗は、安達ヶ原ふるさと村公園や霞ヶ城公園、スカイピアあだたらなどに植栽され、今回も各公園などに植栽される予定です。



渡部貞雄社長(写真左)、次女の絵美さん(写真右から2人目)

県総体ソフトスポ少優勝報告

全国ソフト健闘を誓う

県総体ソフトボール競技スポーツ少年団男子の部で優勝した二本松スポーツ少年団が、全国大会出場報告のため、6月28日に市役所を訪れました。斎藤主将は、「大会に向けて少しでもレベルアップして臨みたい」と意気込みを語りました。同スポ少は県総体ソフトボール競技スポーツ少年団男子の部県北予選で優勝。同県大会も制覇し、初の全国大会出場を決めました。全国大会は8月3日から、愛媛県松山市で開催されます。



全国大会出場を報告した斎藤主将(前列右から3番目)たち

アメリカのダートマス大学生が来松 朝河貫一博士の故郷を訪問

二本松市出身の世界的歴史学者・朝河貫一博士の縁で二本松市と友好都市協定を締結している、アメリカ合衆国ニューハンプシャー州ハノーバー町から、ダートマス大学の学生が来松しました。日本文化研修の学生12人が特別研修の一環として、7月6日から8日まで市内に滞在しました。7日・8日は市内のホストファミリー宅にホームステイし、市民と交流を深めました。学生の訪問は今回で19回目。市役所に訪問した学生たちは、一人一人日本語で自己紹介を行った後、金色地内にある朝河貫一博士と妻ミリアムさんの墓を訪れ、墓石に線香を手向け、感慨深い面持ちで手を合わせていました。



市役所前で記念撮影するダートマス大学の一行と市長ら



朝河貫一博士夫妻の墓に手を合わせるダートマス大生

「民謡魂 ふるさとの唄」公開収録 ふるさとの魅力を再発見

7月8日、二本松市民会館でNHK福島放送局による「民謡魂 ふるさとの唄」公開収録が行われました。同番組は、全国各地に脈々と息づく郷土芸能の数々を掘り起こし、ふるさとの「知られざる魅力」を再発見するもの。司会の城島茂さん、浪江町出身の民謡歌手・原田直之さんなどが出演しました。収録では民謡のほか、智恵子抄のコーナー、浪江町の請戸芸能保存会による「請戸の田植踊」や新相馬節など、ふるさとの郷土芸能によるステージショーが行われました。



「請戸の田植踊」の収録風景

8月の講座のご案内

<p>【スイーツデコ フォトフレーム講座】 開講日・時間 8/4(中) 10:00~11:30 料 金：900円 申込メ切：各開講日の5日前</p>	<p>【スイーツデコかわいい小物入れ講座】 開 講 日：8/3(金)、6(月)、20(月) 時 間：10:00~15:00 料 金：650円 申込メ切：予約不要 (※時間変更の場合有り)</p>
<p>【マーガレットローブブローチ講座】 開講日・時間 8/5(土) 10:00~12:00 8/8(水) 10:00~12:00 料 金：900円 申込メ切：各開講日の5日前</p>	<p>【毎月開催！一閑張講座】 開 講 日：8/10(金)、22(水)、26(日) 時 間：10:00~12:00 料 金：600円(※材料費別途料金) 申込メ切：各開講日の前日</p>

お申し込み・お問い合わせ：二本松市和紙伝承館 ☎61-3200

夏だカレーだ! ソフト引換期間 2018.7/1~9/30

スタンプラリーだ! 下記の5店舗で販売するイベントメニューの完全制覇でソフトクリームを1個プレゼント!

スタンプ押印期間：7/1~8/31

1

道の駅「安志」
上り線
のぼり食堂

2

道の駅「安志」
下り線
ベーカリー

3

道の駅「安志」
下り線
選べた食堂

4

道の駅「安志」
上り線
スタイビアのたから
ドムッポ

5

道の駅「安志」
上り線
雲霧の湯ふもと
よってっ亭

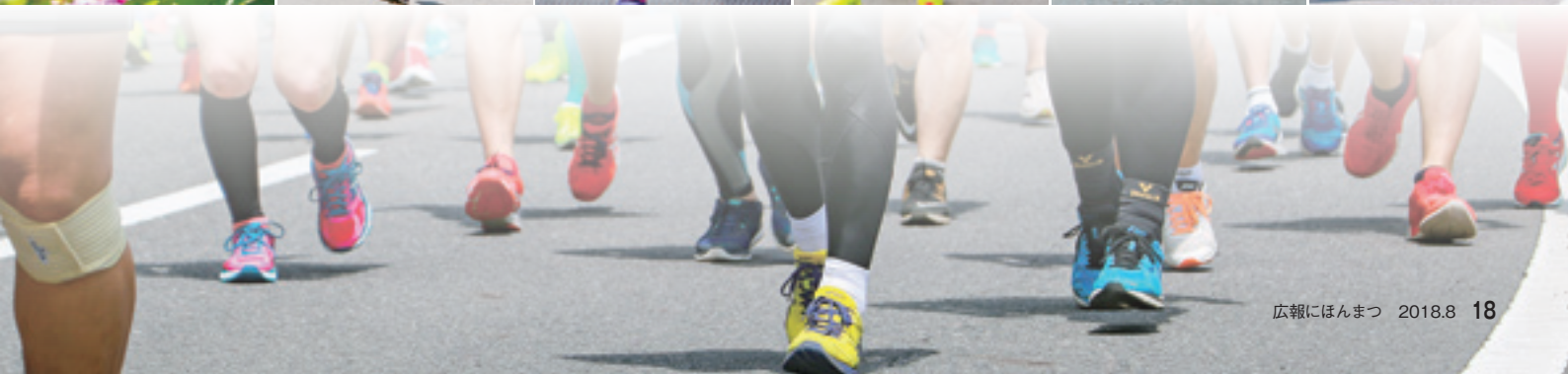
各店舗で販売中のソフトクリームと引換します。但し「1」~「5」のすべては対象外となります。

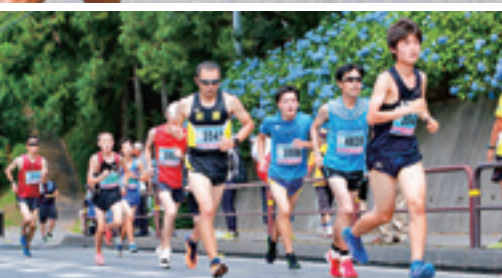
17 Nibonmatsu City Public Relations, 2018.8, Japan

49回 東和ロードレース大会 迎

ゴール

7月1日、東和ロードレース大会が開催され、37部門に3,795人がエントリーし、県内外のランナーが青く色づいたアジサイが彩る「紫陽花ロード」を駆け抜けました。ハーフマラソンスタート時には気温31℃、湿度77%という厳しい条件の中でしたが、合計3,107人が完走しました。





今年の招待選手 渋井陽子さん、赤羽有紀子さん

走り終えたお二人から、感想をお聞きしました。



渋井陽子さん(写真左)

現在の女子10000m日本記録保持者で、女子マラソンでも日本歴代2位の記録を持つ。北京五輪へは10000m日本代表として出場。

赤羽有紀子さん(写真右)

現役時代、ママさんランナーとして活躍し、ハーフマラソンでは日本歴代3位の記録保持者。北京五輪では5000mと10000mの日本代表として出場。

渋井陽子さん

福島県で行われるイベントに初めて参加させていただきました。とにかく暑かったですが、小学生の部で1~5年生までの伴走をさせていただき、とても楽しかったです。

赤羽有紀子さん

昨年に引き続き2回目の参加で、今回は初めて10kmを走りました。コースはアップダウンが激しく、想像以上にきつかったですが、折り返してからは走りやすかったです。このレースは、給水ポイントもたくさんあって、しっかりしているレースだと思いました。娘も小学6年生の部で参加しました。



今年の招待選手は、初参加の渋井陽子さんと、昨年に引き続き参加された赤羽有紀子さん。2人は伴走しながら、多くのランナーたちを励ましていました。

